

2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月15日

上場会社名 and factory 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7035 URL <https://andfactory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 倫治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長江 政孝 (TEL) 03-6712-7646
 定時株主総会開催予定日 2026年11月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年11月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	3,138	△2.2	6	—	6	—	7	—
2025年8月期	3,209	—	△270	—	△266	—	△326	—

(注) 包括利益 2026年8月期 8百万円 (—%) 2025年8月期 △319百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	0.65	0.65	0.8	0.3	0.2
2025年8月期	△28.95	—	△36.8	△13.0	△8.4

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

(注) 1. 2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 当社は、2025年8月期より連結財務諸表を作成しているため、2025年8月期の対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	1,874	907	47.7	79.48
2025年8月期	2,020	892	43.9	78.79

(参考) 自己資本 2026年8月期 895百万円 2025年8月期 887百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	△53	△30	△56	721
2025年8月期	△428	△122	△151	860

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
通 期	百万円 2,928	% △6.7	百万円 △172	% —	百万円 △172	% —	百万円 70	% 858.2	円 銭 6.25

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期	11,263,170株	2025年8月期	11,261,970株
② 期末自己株式数	2026年8月期	277株	2025年8月期	277株
③ 期中平均株式数	2026年8月期	11,261,719株	2025年8月期	11,261,696株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年8月期の個別業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	3,022	△2.7	△3	—	△0	—	8	—
2025年8月期	3,108	△38.1	△267	—	△266	—	△323	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	0.72	0.72
2025年8月期	△28.73	—

(注) 2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	1,823	908	49.2	79.71
2025年8月期	1,967	893	45.2	79.01

(参考) 自己資本 2026年8月期 897百万円 2025年8月期 889百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結累計年度より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に変更して記載しております。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(連結損益計算書関係)	13
(セグメント情報等に関する注記)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において、当社グループでは、「日常に&を届ける」をミッションとして掲げ、「マンガUP!」等の大手出版社と共同開発したスマートフォン向けのマンガアプリ、「星ひとみの占い」等の占いサービス、宿泊施設&AND HOSTEL等の展開による安定的な収益の確保・拡大を図りました。

当連結会計年度の売上高は、ライセンス事業の順調な拡大およびスポットの大型受託案件の獲得により、電子書籍書店や占いサービスの縮小分をカバーしたものの、前連結会計年度比で微減となりました。営業損益につきましては、主力事業であるマンガ事業における徹底したコスト構造の適正化に加え、マンガ・エンタメ両事業でのスポット受託案件の獲得が寄与し、営業黒字化を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は3,138百万円（前年同期比2.2%減少）、営業利益6百万円（前年同期は営業損失270百万円）、経常利益6百万円（前年同期は経常損失266百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失326百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(APP事業)

当連結会計年度の売上高につきましては、事業譲受した電子書籍ストア『ソク読み』の課金売上および既存占いサービスが当初想定を下回ったものの、スポット受託案件の着実な獲得によりカバーを図り、微減での着地となりました。

一方で、既存のマンガアプリ及びWEBサービスにおいては、人気作品の完結による連載終了の影響を受け、MAU（注1）が減少しましたが、人気作品のメディア化及びオリジナル作品の販売が好調なことから課金ARPUならびに広告ARPU（注2）はともに伸長しました。

この結果、当連結会計年度におけるAPP事業の売上高は2,934百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は289百万円（前年同期比セグメント利益は382.4%増）となりました。

- (注) 1. Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。
2. Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

当社グループのAPP事業において運営するスマートフォンアプリのうち、「マンガアプリ」の四半期毎の平均MAU数の推移は下表のとおりであります。

(単位：万人)

年月	平均MAU数	年月	平均MAU数
2018年5月末	204	2022年8月末	1,152
2018年8月末	238	2022年11月末	1,129
2018年11月末	279	2023年2月末	1,105
2019年2月末	362	2023年5月末	1,140
2019年5月末	430	2023年8月末	1,161
2019年8月末	532	2023年11月末	1,126
2019年11月末	641	2024年2月末	972
2020年2月末	720	2024年5月末	971
2020年5月末	906	2024年8月末	943
2020年8月末	994	2024年11月末	905
2020年11月末	1,026	2025年2月末	899
2021年2月末	1,054	2025年5月末	887

2021年5月末	1,056	2025年8月末	875
2021年8月末	1,101	2025年11月末	841
2021年11月末	1,046	2026年2月末	811
2022年2月末	1,044	2026年5月末	807
2022年5月末	1,121	2026年8月末	810

(RET事業)

当連結会計年度において、インバウンド需要を捉え外国籍の宿泊者数が好調に推移しており「&AND HOSTEL」の稼働率は引き続き高水準を維持し宿泊売上は堅調に推移しました。不動産アドバイザー報酬及び宿泊物件の売買仲介手数料による売上も収受し、売上及び利益に寄与しました。

この結果、当連結会計年度におけるRET事業の売上高は129百万円（前年同期比売上高は8.5%増）、セグメント利益は47百万円（前年同期比セグメント利益は68.1%増）となりました。

(その他事業)

主にマンガのIPを広告等に活用するライセンス事業を実施しております。

当連結会計年度におけるその他事業の売上高は74百万円（前年同期比売上高は178.3%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は1,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が138百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は967百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円減少いたしました。これは主に、未払金が38百万円、長期借入金が29百万円、買掛金が27百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は907百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加7百万円であります。

なお、自己資本比率は47.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度に比べて138百万円減少し、721百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、53百万円（前年同期は428百万円の使用）となりました。これは主に未収消費税の減少額103百万円による増加があった一方で、売上債権の増加額86百万円による減少があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、30百万円（前年同期は122百万円の使用）となりました。これは主に事業譲受による支出16百万円、無形固定資産の取得による支出14百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、56百万円（前年同期は151百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出31百万円、短期借入金の返済による支出25百万円があったこと等によるものであります。

（４）今後の見通し

当社が事業を展開する領域においては、AI(人工知能)等の技術革新のスピードが早く、また、市場が成熟期に移行しており、今後市場環境の変化に応じて柔軟に適応することが重要と考えられます。

当社が今後さらに業容を拡大し、成長と発展を遂げるために、当社の経営陣は、変化の激しい環境の中で様々な課題に対処していく必要があることを認識し、今後も価値の高いサービスの展開と成長への投資を積極的に行い、「成長性と収益性の両立」を継続することで企業価値の最大化を図ってまいります。

2027年8月期以降も継続して、既存マンガ事業における利益確保及びエンタメ事業・RET事業・ライツ事業・ローカライズ事業の更なる成長による業容拡大、新規事業の創出による収益改善を図ってまいります。

APP事業においては、成熟期に差し掛かりつつある既存マンガアプリは利益を確実に作り出していくフェーズへと移行し、マンガアプリ自体の成長と新規事業への投資のバランスをとった事業運営をしてまいります。

更に、マンガ事業においては新たな事業領域への進出を図ってまいります。具体的には、縦スクロールマンガの受託制作から知見を深め、生成AIを活用したマンガ製作など、IPの創出等ビジネスモデルを確立することで新たな収益源の確保を図ってまいります。

また、「uraraca」や「星ひとみの占い」を展開するエンタメ事業の収益拡大にも注力してまいります。特に、リリース以降堅調に推移してきた占い事業については、積極的な広告宣伝費等の投資を通じて既存のサービスの更なる成長を目指すとともに、占い領域における新たなサービス展開を図ることで事業規模の拡大を目指してまいります。

RET事業におきましては、「&AND HOSTEL」の運営受託や宿泊施設の利活用によるマネタイズ及び、不動産の仲介やコンサルティングの分野で収益源確保に取り組んでまいります。2027年8月期中に「&AND HOSTEL」店舗の直営化を進め収益改善を図ります。

ライツ事業におきましては、大手出版社と協業しIPを活用した新たなビジネスの展開やインフルエンサーやYoutuberのIPを当社でいち早く形にして顧客へ届けることで事業を拡大させてまいります。

このような状況の下、当社グループの2026年8月期の連結業績予想は、売上高2,928百万円（対前期比6.7%減）、営業損失172百万円、経常損失172百万円、親会社株主に帰属する当期純利益70百万円（対前期比858%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	860	721
売掛金	533	620
商品	1	7
仕掛品	17	26
立替金	-	50
未収収益	-	0
短期貸付金	6	7
未収入金	304	247
未収還付法人税等	-	7
未収消費税等	103	-
その他	44	42
貸倒引当金	△32	△32
流動資産合計	1,840	1,697
固定資産		
有形固定資産		
建物	6	6
工具、器具及び備品	60	66
減価償却累計額	△66	△70
有形固定資産合計	0	3
無形固定資産		
ソフトウェア	18	24
ソフトウェア仮勘定	0	-
のれん	38	43
無形固定資産合計	58	67
投資その他の資産		
投資有価証券	45	45
長期貸付金	20	13
敷金及び保証金	41	41
その他	13	6
投資その他の資産合計	121	106
固定資産合計	179	177
資産合計	2,020	1,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	175	148
短期借入金	90	65
1年内返済予定の長期借入金	31	29
未払金	466	428
未払法人税等	9	0
未払消費税等	-	20
賞与引当金	1	6
株主優待引当金	35	39
その他	79	21
流動負債合計	890	759
固定負債		
長期借入金	235	206
繰延税金負債	1	1
固定負債合計	237	207
負債合計	1,127	967
純資産の部		
株主資本		
資本金	801	70
資本剰余金	800	817
利益剰余金	△718	4
自己株式	△0	△0
株主資本合計	883	891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
その他の包括利益累計額合計	3	3
新株予約権	4	10
非支配株主持分	1	1
純資産合計	892	907
負債純資産合計	2,020	1,874

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	3,209	3,138
売上原価	1,823	1,624
売上総利益	1,385	1,514
販売費及び一般管理費	1,655	1,507
営業利益又は営業損失(△)	△270	6
営業外収益		
受取利息	1	3
為替差益	-	1
補助金収入	6	1
償却債権取立益	-	1
雑収入	-	1
受取補償金	0	-
過年度消費税等	4	-
その他	0	0
営業外収益合計	13	8
営業外費用		
支払利息	6	6
為替差損	1	-
その他	0	2
営業外費用合計	9	9
経常利益又は経常損失(△)	△266	6
特別利益		
固定資産売却益	0	-
受取保険金	2	-
収益の計算方法の変更に伴う利益	28	※ 9
特別利益合計	31	9
特別損失		
減損損失	59	-
固定資産除却損	22	-
投資有価証券評価損	3	-
特別損失合計	85	-
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△320	15
法人税、住民税及び事業税	2	6
法人税等合計	2	6
当期純利益又は当期純損失(△)	△323	8
非支配株主に帰属する当期純利益	3	1
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△326	7

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△323	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	-
その他の包括利益合計	3	-
包括利益	△319	8
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△322	7
非支配株主に係る包括利益	3	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	801	800	△392	△0	1,209
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					-
自己株式の取得				△0	△0
減資					-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△326		△326
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△326	△0	△326
当期末残高	801	800	△718	△0	883

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	-	-	-	-	1,209
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					-
自己株式の取得					△0
減資					-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△326
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3	3	4	1	9
当期変動額合計	3	3	4	1	△316
当期末残高	3	3	4	1	892

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	801	800	△718	△0	883
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	0	0			0
自己株式の取得					-
減資	△731	16	715		-
親会社株主に帰属する当期純利益			7		7
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	△731	16	722	-	7
当期末残高	70	817	4	△0	891

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	3	3	4	1	892
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					0
自己株式の取得					-
減資					-
親会社株主に帰属する当期純利益					7
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		△0	6	0	6
当期変動額合計	△0	△0	6	0	13
当期末残高	3	3	10	1	906

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△320	15
減価償却費	30	13
のれん償却額	10	9
減損損失	59	-
固定資産売却損益(△は益)	△0	-
固定資産除却損	22	-
投資有価証券評価損益(△は益)	3	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	5
株主優待引当金の増減額(△は減少)	11	3
受取利息及び受取配当金	△1	△3
補助金収入	△6	△1
支払利息	6	6
売上債権の増減額(△は増加)	103	△86
未収入金の増減額(△は増加)	△43	53
棚卸資産の増減額(△は増加)	4	△13
前払費用の増減額(△は増加)	△8	2
立替金の増減額(△は増加)	19	△47
未収消費税等の増減額(△は増加)	△103	103
仕入債務の増減額(△は減少)	59	△27
未払金の増減額(△は減少)	△76	△38
未払消費税等の増減額(△は減少)	△191	20
その他	△21	△60
小計	△432	△44
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△6	△6
補助金の受取額	4	2
法人税等の支払額	△4	△8
法人税等の還付額	8	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△428	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31	△6
無形固定資産の取得による支出	△28	△14
敷金及び保証金の差入による支出	△13	-
敷金及び保証金の回収による収入	0	-
投資有価証券の取得による支出	△20	-
有形固定資産の売却による収入	0	-
事業譲受による支出	△6	△16
貸付けによる支出	△30	△10
貸付金の回収による収入	13	16
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5	-
その他	0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△60	△25
長期借入金の返済による支出	△91	△31
ストックオプションの行使による収入	-	0

自己株式の取得による支出	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151	△56
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△703	△140
現金及び現金同等物の期首残高	1,563	860
現金及び現金同等物の期末残高	860	721

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「流動資産」の「立替金」に含めていた出版社等への請求権につきまして、経済的実態をより適切に反映するため当連結会計年度より、「流動資産」の「未収入金」として集計表記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるために、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「立替金」に含めていた200百万円は、「未収入金」に組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「立替金の増減額(△は増加)」は、経済的実体をより適切に反映するため当連結会計年度より「未収入金の増減額(△は増加)」に集計表記しております。この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「立替金の増減額(△は増加)」50百万円は、「未収入金の増減額(△は増加)」に組み替えております。

(連結損益計算書関係)

※ 収益の計算方法の変更に伴う利益

当連結会計年度において、APPセグメントの一部取引先との間で、取引先からの要請に基づき当社の広告収益の計算方法を見直す事に合意した為、収益の計算方法の変更に伴う利益9百万円を特別利益に計上しております。

(セグメント情報等に関する注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各報告セグメントは、それぞれ特徴の異なる商品を取り扱っており、収益・財務構造及び営業戦略が異なることから、それぞれ独立した報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

APP事業は、主に、アプリの開発及び運営、アプリ内のモバイル広告枠の販売、インターネット広告の代理サービス等を行っております。

RET事業は、主に、スマートホステル「&AND HOSTEL」の企画開発及び運営、不動産アドバイザー業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業損益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	RET事業	計		
売上高					
マンガ	2,084	—	2,084	—	2,084
占い	864	—	864	—	864
&AND HOSTEL	—	44	44	—	44
不動産関連	—	74	74	—	74
その他	114	—	114	26	141
顧客との契約から生じる収益	3,063	119	3,182	26	3,208
その他の収益	—	0	0	—	0
外部顧客への売上高	3,063	119	3,182	26	3,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,063	119	3,182	26	3,209
セグメント利益又は損失(△)	59	27	87	△3	84
セグメント資産	986	65	1,052	10	1,062
その他の項目					
減価償却費	20	0	21	0	21
のれん償却額	10	—	10	—	10
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	55	—	55	—	55

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンガのIPを広告等に活用する事業であります。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	RET事業	計		
売上高					
マンガ	2,002	—	2,002	—	2,002
占い	766	—	766	—	766
&AND HOSTEL	—	52	52	—	52
不動産関連	—	76	76	—	76
その他	166	—	166	74	240
顧客との契約から生じる収益	2,934	129	3,063	74	3,138
その他の収益	—	0	0	—	0
外部顧客への売上高	2,934	129	3,063	74	3,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,934	129	3,063	74	3,138
セグメント利益又は損失(△)	289	47	336	△1	334
セグメント資産	694	254	948	92	1,041
その他の項目					
減価償却費	9	0	10	2	13
のれん償却額	9	—	9	0	9
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	14	0	14	16	37

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンガのIPを広告等に活用する事業であります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,182	3,063
「その他」の区分の売上高	26	74
連結財務諸表の売上高	3,209	3,138

(単位：百万円)

利益又は損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	87	336
「その他」の区分の損失(△)	△3	△1
全社費用(注)	△354	△328
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	△270	6

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,052	948
「その他」の区分の資産	10	92
全社資産(注)	958	833
連結財務諸表の資産合計	2,020	1,874

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	21	10	0	2	8	—	30	13
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	55	14	—	16	31	5	86	37

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社備品の取得価額であります。

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	APP事業	RET事業	計			
減損損失	6	—	6	—	53	59

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません

(のれんの金額の重要な変動)

当連結会計年度において、bridge事業の事業譲受を行ったため、「その他」において、のれんが16百万円増加しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	78.79円	79.48円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△28.95円	0.65円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	0.65円

(注) 1. 前連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります

項目	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△326	7
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△326	7
普通株式の期中平均株式数(株)	11,261,696	11,261,719
潜在株式調整後1株当たり当期純利益又は当 期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百 万円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	127,600
(うち新株予約権)(株)	－	127,600
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式 の概要	－	－

(重要な後発事象)

(共通支配下の取引等)

当社は、2026年8月14日付の取締役会報告に基づき、下記のとおり、当社の子会社である株式会社サウスワークスの全株式を取得し、同社を完全子会社化いたしました。

尚、2024年5月17日付の取締役会決議により既に本件の追加取得も決議しており8月14日付の取締役会では取得価格の報告事項に留まっております。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

名称 株式会社サウスワークス

事業内容 エンタメコンテンツの海外展開支援 英語・簡体字・繁体字翻訳 WEB サイト制作・WEBマーケティング等

(2) 企業結合日

2026年9月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他の取引の概要に関する事項

当初の基本合意にもとづく株式の段階取得により同社を完全子会社化することとなりました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定です。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 78,000千円

取得原価 78,000千円

4. 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

当社による追加取得の取得原価と、追加取得に伴う非支配株主持分の減少額との差額によるものです。

(2) 非支配株主との取引によって増加する資本剰余金の金額

76,000千円の見込みです。

(投資有価証券の売却)

当社は下記のとおり保有する投資有価証券の一部を売却いたしました。これにより、2027年8月期に投資有価証券売却益(特別利益)を計上いたします。

1. 投資有価証券の売却理由 保有資産の効率化を図るため

2. 投資有価証券の売却の内容

(1) 売却株式銘柄 株式会社Skyfall

(2) 売却日 2026年9月17日

(3) 売却株式数 181,900株

(4) 売却額 251百万円

(5) 投資有価証券売却益 242百万円